

【今週の注目疾患】

インフルエンザ

2015年52週の県全体の定点当たり報告数は、51週の0.27から増加し0.73となった。地域によっては流行の目安とされる1.00を超えており、今後の流行状況に注意が必要である。

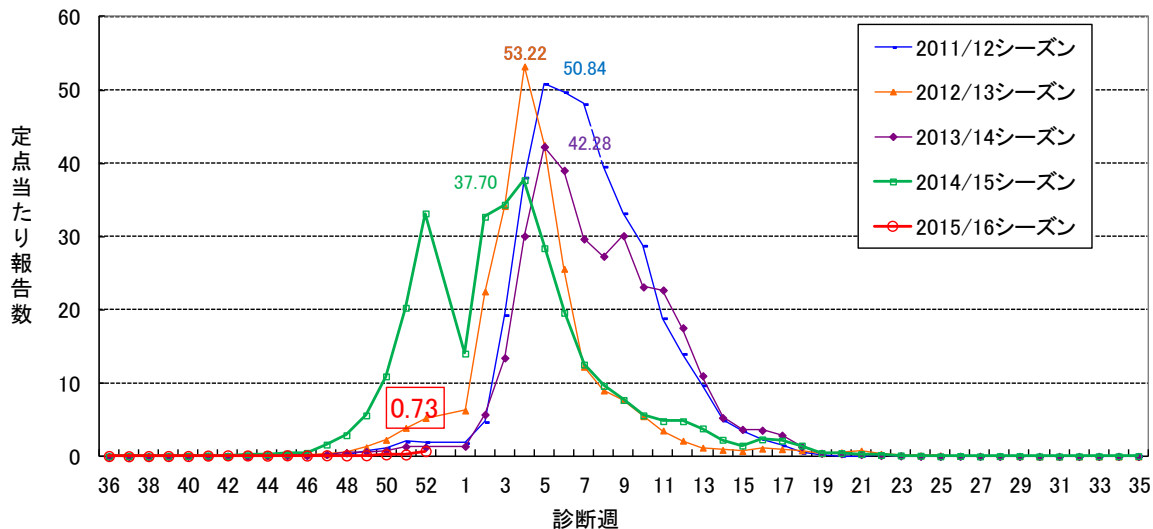
保健所別では、16保健所中15保健所管内で増加し、夷隅(3.40)、松戸(1.60)、印旛(1.09)、君津(1.08)、市川(1.00)、市原(0.82)、山武(0.78)で多かった。

2015/16シーズン全体の年齢群別報告割合は、5～9歳が22.7%、0～4歳が16.3%、40～49歳が13.2%、30～39歳が11.0%、10～14歳が10.2%であった。

2015/16シーズン全体の小児科・インフルエンザ定点医療機関の協力による迅速診断結果の報告は、522例中A型407例(78.0%)、B型105例(20.1%)、A and B型5例(1.0%)、A or B型5例(1.0%)であった。

平成27年度 今冬のインフルエンザ総合対策について(厚生労働省)
 URL: <http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/influenza/index.html>

千葉県の流行シーズン別インフルエンザ定点当たり報告数



インフルエンザ

